

## 2019 年度 古代ギリシア文化研究所総会・研究集会報告要旨

日時：2019 年 11 月 9 日（土）

会場：共立女子大学、本館 303 講義室

### 第一報告 篠原道法（大阪大学招聘研究員）

「古代アテナイにおける住民の社会的機能の表現 —墓碑を資料として—」

前 5 世紀中葉以降のアッティカ墓碑では、墓碑銘・浮彫を通じて人々が社会で果たすべき役割—社会的機能—がしばしば表現されるが、そこには男性市民とそれ以外の住民との間で大きな相違がある。例えば、墓碑には男性市民を戦士や公職者などとする表現がよく登場する一方で、男性外国人がそのように表現されることはあまりない。当然ながら、事態は女性の場合も同様である。この事実は、墓碑における社会的機能の表現が男性市民には「市民」であることを、また女性・外国人にはポリスの「他者」であることを意識・再確認する契機となったことを想像させる。

それでは、かかる想定にはどれほどの妥当性があるのだろうか。女性・外国人の社会的機能の表現からは、これとは別の、何がしかのポジティブな意味合いを読み取れないだろうか。本報告では、墓碑における住民—そのうち、主に女性・外国人—の社会的機能の表現の分析を通じて、この問題について考えたい。

### 第二報告 竹内一博（大阪市立大学研究員）

「ἐὐθυνοῶ τὴν ἀρχήν —トリコス供犠暦におけるエウテュノスの誓い—」

前 440-430 年頃（または前 4 世紀初め）に年代付けられるトリコス供犠暦（IG I<sup>3</sup> 256 bis）は、その数奇な運命もさることながら、神々や英雄たちに対する供犠の実態をまとまった形で伝えており、おそらくその主体をなすデーモスというミクロコスモスだけでなく、ポリスというマクロコスモスにおける供犠と社会のあり方を考える上でも重要な碑文史料である。とりわけ、この碑文を特徴付けているのが、その末尾に刻まれたエウテュノス（執務審査役）およびパレドロイ（補佐役）の誓いである。しかし、誓いの規定を含む石碑右下部分は欠損しており、1983 年にフランス人碑文学者 Georges Daux が発表した *editio princeps* における読みと補いが最近でも採用され続けている（cf. NGS L2 1; CGRN 32; OR 146）。本報告では、現行の校訂テキストの問題点を明らかにし、この誓いの文言に碑文学的検討を加え、新たな補いの可能性を提示してみたい。

### 第三報告 上野慎也（共立女子大学准教授）

「テーセウス頌 イソクラテース『ヘレネー』」

Isoc.10, 11, 16 は互いに矛盾する。即ち Isoc.10 であるべき頌辞と弁疏のけじめを主張しながら、Isoc.16 ではその区分が混同され、Isoc.11 はその区別を根柢から否定して正しい παράδοξος λόγος を提示することを目指すも、果たせず、むしろ全体がある種の π.λ.になるというねじれが生じている。三竦みの関係をなす以上は、この矛盾が何らかの意図に出るものであると見ねばなるまい。同時に、この関係は、唯一首尾一貫しているかに見える Isoc.10 にも何らかの矛盾が秘/籠められている可能性を示唆する。Isoc.10 は正しい π.λ.であり、誤った π.λ.の Isoc.11 と対をなすという見方が提出されてはいるけれども、ことはそう単純ではあるまい。Isoc.10 が不釣合いに紙幅を割いて描き出すテーセウス像が気に掛かる。これを手掛かりに、全体の構造と、その意味について、少時思いをめぐらせてみたい。

### 第四報告 周藤芳幸（名古屋大学教授）

「古代地中海世界における知の伝達と組織化」

科学研究費補助金基盤研究（A）による共同研究「古代地中海世界における知の動態と文化的記憶」では、2018年9月に名古屋大学を会場として国際研究集会 Transmission and Organization of Knowledge in the Ancient Mediterranean World を第4回日欧古代地中海世界コロキウムとして開催し、現在、その成果をウィーンの Phoibos Verlag から刊行する準備を進めている。2005年から4年ごとに行われてきた日欧古代世界コロキウムの継続的開催は、アテネに研究拠点を設置することを目標に掲げている古代ギリシア文化研究所にとっては、国際的な学術活動の中核に位置づけられる重要なミッションとなっているが、2022年にそのアテネで開催することを予定している次回のコロキウムの準備についても、そろそろ具体的な内容の検討に着手する時期となっている。そこで、この機会に、第4回コロキウムの成果の一部を紹介するとともに、上記の共同研究の今後の展開についても、会員の方々と意見交換を行うこととしたい。